検査対象軽自動車の自動車検査証の電子化について

令和6年1月~



1.自動車検査証の電子化について



登録車において令和5年1月に先行して導入された<u>自動車検査証の電子化</u>について、<u>軽自動車</u>においては、<u>令和6年1月</u>から<u>交付</u> を開始します。

自動車検査証電子化後の自動車検査証(電子車検証)の券面には、継続検査、一部の変更記録申請等により電子車検証の券面記載事項の変更を伴わない基礎的情報を券面に記載することとなります。

電子車検証券面に記載がなく、ICタグのみに格納される情報にあっては、新たな電子車検証を発行することなく、ICタグ内の情報の <u>書換えが可能</u>となります。

- ・ 券面記載事項に変更がある場合には、軽自動車検査協会事務所等において電子車検証の交付(発行)が必要。
- · 記録等事務代行制度により委託を受けた代行者によるICタグ内の情報の書換えのみの場合は、軽自動車検査協会事務所等への出頭は不要となります。

電子車検証の券面に掲載されない事項

- ○所有者の氏名・住所 ○使用者の住所、使用の本拠の位置
- ○有効期間の満了する日 ○備考欄の一部(牽引車情報など) 等 ICタグに記録



自動車検査証 自動車の確別 用者 自家用・事業用の別 型式和工器号 類別芸分書号 580 h 4249 ケイケン ABC-1234567 ガソリン 0.65 I DBA-ABC 440 440 BEZA C 軽検 太郎 H ハイブリッド車、平成28年駅音MAIA 73dB 3 .750rps (IH) 4,875rps 19 K1234AA1234567 セキュリティコー

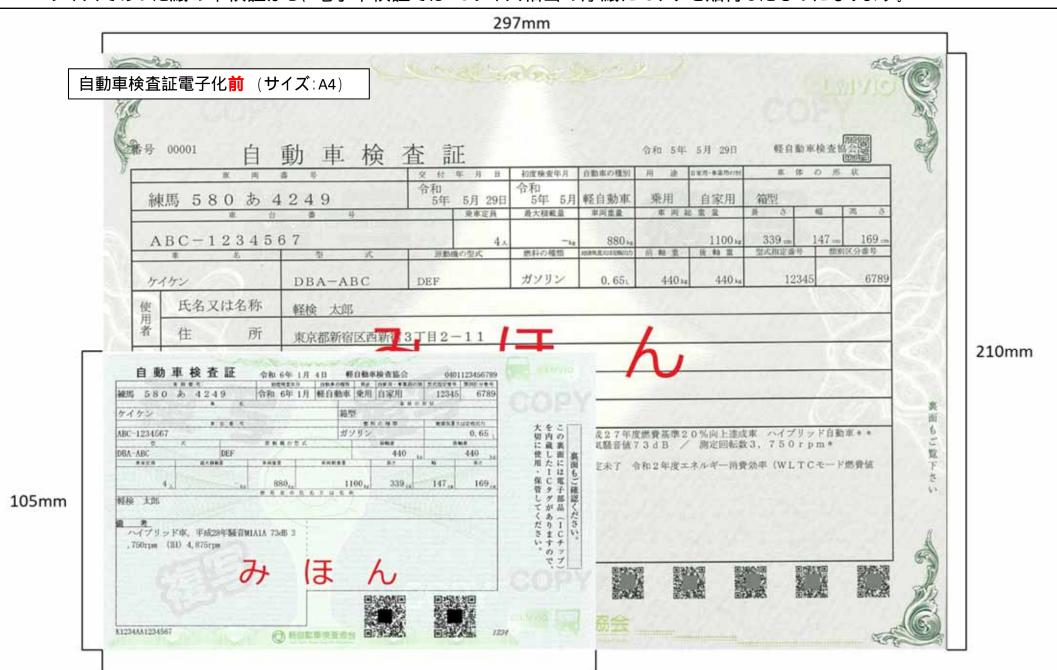
自動車検査証電子化後 (サイズ: A6+ICタグ部分(105×177.8mm))

2.自動車検査証のサイズについて

177.8mm



A4サイズであった紙の車検証から、電子車検証ではA6サイズ相当の厚紙にICタグを貼付したものになります。



2

3. 車検証券面記載の新規項目について



項番	名称	内容
	電子車検証発行年月日	電子車検証を発行した日付が印字される(紙の車検証の時は検査記録日が印字)。
	電子車検証管理番号	電子車検証ごとに付与される13桁の番号(登録車は12桁)。
	車両ID	車両に対して初めて電子車検証が発行される際に付す14桁の固有の識別番号。(当協会がはじめて付与する車両の場合は先頭1文字目が「K」となる。登録車の場合は「T」。) 既存の車両にも、紙の車検証から電子車検証への切替え時に自動的に付与する。 車両番号や所有者が変わっても車両を識別することが可能となる。
	セキュリティコード	閲覧アプリ使用時に必要となる4桁の番号。



ICタグがあるため、 折り曲げ厳禁

4.電子車検証の券面に表示する二次元コードについて

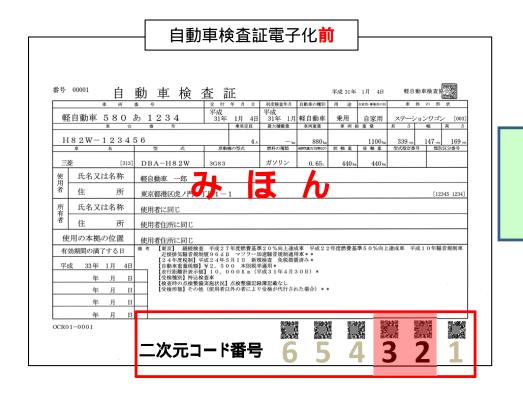


電子車検証券面に変更がなく、ICタグ内の情報のみを書換える場合、電子車検証交付時に券面に表示した二次元コードの情報が最新の情報ではなくなり、ICタグ内の情報と二次元コード内の情報に乖離が生まれることから、書換えられる可能性がある情報に関しては、二次元コードに格納することができません。

また、<u>電子車検証</u>のサイズおよび欄外印刷可能領域の小型化により、現状の自動車検査証欄外に表示している<u>全ての二次元</u> <u>コードを表示することが困難</u>となります。

上記を踏まえ、先行して導入している<u>登録車の電子車検証券面に表示されている二次元コードと同等程度</u>の情報が格納された コード2及びコード3を車検証券面に表示することになります。

自動車検査証が対象。 自動車検査証以外の証明書(例:自動車予備検査証etc...) <mark>は電子化対象外</mark>であり、コード3に一部の仕様変更が入る(次ページ以降に詳細記載) ものの、現行と同等の二次元コードを表示。





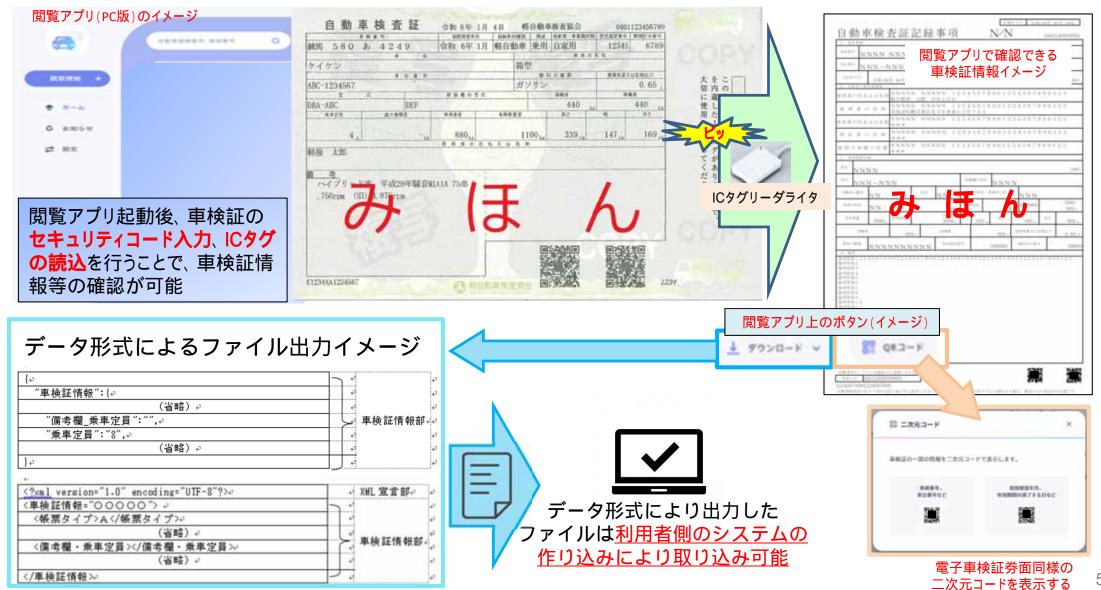
コード3については、車検の有効期間満了日が格納されており、書換え対象情報となるため、 ダミー値(999999)を設定します(登録車と同様の仕様)。ただし、自動車検査証以外の証明 書はこれまで同様の値を設定します(変更なし)。詳細はスライド6に記載。

5. 車検証情報閲覧アプリについて



電子車検証の券面には、有効期間や使用者住所、所有者情報が記載されないため、<u>車検証情報閲覧アプリを活用し、当該情報の確認が可能</u>。なお、<u>国土交通省が提供している閲覧アプリで令和6年1月から軽自動車の電子車検証の閲覧も可能</u>となります。

車検証情報閲覧アプリでは、車検証情報の確認のほか、<u>車検証情報のファイル出力(Json、XML、CSV、PDF形式)、電子車検証</u>に出力されている情報と同等の<u>二次元コードの出力</u>、車検証情報以外の情報(<u>リコール情報等</u>)の<u>確認が可能</u>です。



6. 令和6年1月以降の自動車検査証返納証明書について
 「Eight Motor Vehicle Inspection



「自動車検査証返納」後においては、閲覧アプリのオンラインによる閲覧が不可となります。新たに新規(中古) 検査にて使用過程車両となる際等の情報連携の活用を可能とするため、返納証明書に車両のライフサイクル を通して不変となる「車両ID」を格納した新たな二次元コードの「コード7」を追加します。



7. 自動車検査証記録事項について



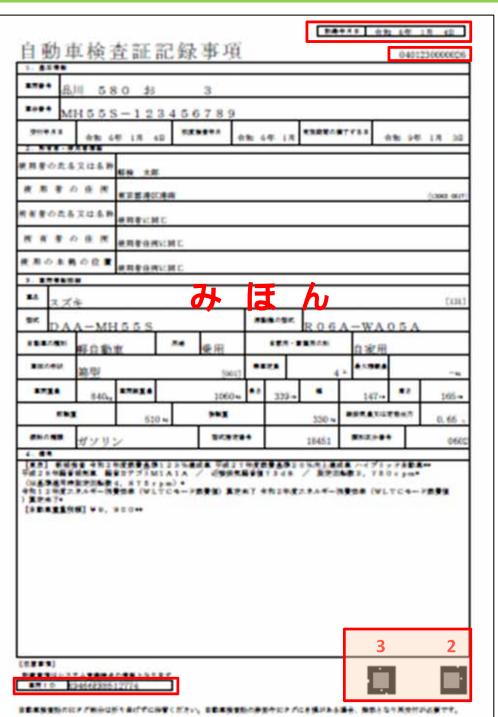
電子車検証のICタグの読取り環境が普及するまでの当面の間(令和6年1月から3年程度の期間を予定)は、当協会窓口での電子車検証の「交付」又はICタグ内の情報の「書換え」時に「自動車検査証記録事項」帳票を交付します。

「自動車検査証記録事項」帳票には、電子車検証ICタグ内の情報が記載されます。

「自動車検査証記録事項」帳票は閲覧アプリからも出力可能となります。

また、電子車検証同様に二次元コードのコード2およびコード3を 印字します。

項番	名称
	検査記録年月日
	電子車検証管理番号
	車両ID
	二次元コード



(参考)電子車検証券面の二次元コード2の仕様



コード2:変更なし

注意:今後の機能改修等により本仕様は予告な〈変更する場合があります。

No.	項目名	全角/半角	可変/ 固定	サイズ	設定値 : 全角スペース :半角スペース
1	システムID	半角	固定長	1桁	"K"固定
2	バージョン番号	半角	固定長	2桁	"22"固定
3	車両番号	全角	固定長		中板の場合 標板文字+分類番号+かな文字+一連番号を設定する 小板の場合 分類番号+標板文字+かな文字+一連番号を設定する 標板文字が4桁に満たない場合は全角スペース埋め マスタから標板文字の取得に失敗した場合全角スペース埋め 分類番号が3桁に満たない場合は全角スペース埋め 一連番号が4桁に満たない場合は全角スペース埋め
4	標板の枚数・大きさ	半角	固定長	1桁	転入返納の場合"-"を設定する 1:中板・2枚・ペイント、2:小板・2枚・ペイント、3:中板・1枚・ペイント 4:小版・1枚・ペイント、5:中板・2枚・字光、6:小板・2枚・字光 7:中板・1枚・字光、8:小版・1枚・字光 ※希望番号の場合は1→A、2→B、3→C、4→D、5→E、6→F、7→G、8→Hとなる
5	車台番号	半角	固定長	20桁	職権打刻車台番号の場合は先頭の2桁を[]で囲む
6	原動機型式	半角	可変長		諸元マスタの取得に失敗した場合は"***"を設定する 原動機型式が存在しない場合は"-"を設定する 職権打刻の場合は先頭の2桁を[]で囲む 不明の場合は"*FUMEI"を設定する (平成30年4月の機能改修により12桁から24桁に変更)
7	帳票種別	半角	固定長	1村	1:自動車検査証、2:予備検査証、3:限定検査証、4:返納証明書 上記以外の場合は未設定

補足:二次元コード内の各項目の区切り文字として、半角スラッシュ(/)を格納するため、データサイズ合計は最大67となる。(現行から変更なし)

(参考)電子車検証券面の二次元コード3の仕様



コード3:一部変更あり(変更箇所は黄色網掛け部分が該当)

注意:今後の機能改修等により本仕様は予告な〈変更する場合があります。

					注息、予復の機能以修寺により本仏様は丁音なく変更する場合がありま
No.	項目名	全角/半角	可変/ 固定	サイズ	設定値 : 全角スペース : 半角スペース
1	システムID	半角	固定長	1桁	"K"固定
2	バージョン番号	半角	固定長	2桁	"32"固定
3	車台番号打刻位置	半角	固定長	3桁	備考情報の車台番号打刻位置を設定、未設定の場合は"-▲▲"を設定
	型式指定番号· 類別区分番号	半角	固定長	9桁	型式車の場合のみ設定、それ以外は未設定
	有効期間満了日	半角	固定長	6桁	電子車検証券面表示の二次元コードでは、ダミー値(999999)を設定する。
6	初度検査年月	半角	固定長		YYMM(西暦下2桁+月)、未設定の場合は"9999"を設定
	型式	半角	可変長		諸元マスタの取得に失敗した場合は"***"を設定する
	-				型式が存在しない場合は"-"を設定する
					改造車の場合型式+"*K"、型式が存在しない場合は"*K"を設定する
					試作車の場合型式+"*S"、型式が存在しない場合は"*SHISAKU"を設定する
					組立車の場合"KUMITATE"を設定する
					不明の場合"*FUMEI"を設定する
8	前前軸重	半角	固定長	4桁	諸元マスタ取得失敗の場合"***▲"を設定する
					未設定の場合"-▲▲▲"を設定する
					10kg単位で設定し、4桁に満たない場合は先頭0埋め(550kgの場合は0055)
	前後軸重	半角	固定長	1桁	"-"固定
10	後前軸重	半角		1桁	"-"固定
11	後後軸重	半角	固定長	4桁	諸元マスタ取得失敗の場合"***▲"を設定する
					未設定の場合"-▲▲▲"を設定する
					10kg単位で設定し、4桁に満たない場合は先頭0埋め(550kgの場合は0055)
	騒音規制	半角	固定長		備考情報の騒音規制区分を変換 (詳細は次スライド目に記載)
13	近接排気騒音規制値	半角	固定長		備考情報の近接排気騒音規制値を設定(詳細は次スライド目に記載)
14	駆動方式	半角	_	1桁	"-"固定
	オパシメータ測定車	半角	固定長		"-"固定
	NOxPM測定モード	半角	固定長		"-"固定
	NOx値	半角		4桁	"-▲▲▲"固定
	PM値	半角	固定長		"-▲▲▲▲"固定
	燃料の種類コード	半角	固定長		燃料の種類コードを設定する(詳細は8スライド目に記載)
_	予備項目	半角	固定長	3桁	"999"固定 (詳細は8スライド目に記載)

補足:二次元コード内の各項目の区切り文字として、半角スラッシュ(/)を格納するため、データサイズ合計は最大96となる。(現行から変更なし)

(参考)電子車検証券面の二次元コード3の仕様



コード3のNo.12、13、19、-の補足

No.	項目名	現行(紙車検証)の設定内容 ▲:半角スペース	R6.1更改後(電子車検証)の設定内容 ▲:半角スペース
12	騒音規制	"-▲"を設定	備考情報の騒音規制区分を変換 平成10年騒音規制適合車の場合:"10" 平成11年騒音規制適合車の場合:"11" 平成12年騒音規制適合車の場合:"12" 平成28年騒音規制適合車の場合:"28" 騒音規制対象外車の場合:"-▲"
13	近接排気騒音規制値	"-▲▲"を設定	備考情報の近接排気騒音規制値を設定 ※3桁未満の場合先頭0埋め 近接排気騒音規制値がない場合"-▲▲"
19	予備項目 →燃料の種類コード	"99999"を設定	型式車は諸元マスタの燃料種類コード、一般車は一般車 諸元テーブルの燃料種類コード(OCRコード)を取得して2桁のOCRコードを設定する。 01 ガソリン 02 軽油 03 L P G 04 灯油 05 電気 06 ガソリン・L P G (併用式) 07 ガソリン・灯油(併用式) 08 メタノール 09 C N G 11 L N G 12 A N G 13 圧縮水素 14 ガソリン・電気 15 L P G・電気 16 軽油・電気 17 ガソリン L P G (切替式) 18 ガソリン 灯油(切替式) 99 その他
_	_	_	残り3桁が予備項目(999を設定)

(参考)令和6年1月以降の二次元コードの形式



電子車検証に記載される二次元コードの形式

コード名称	コード分割数	誤り訂正率	セルの大きさ (mm/セル)	バージョン番号
コード 2	1 (分割なし)	M (15%)	0 . 4 0	5 (セル数(37×37))
コード 3	1 (分割なし)	M (15%)	0 . 4 0	5 (セル数(37×37))

電子車検証以外に記載される二次元コードの形式(形式変更なし)

コード名称	コード分割数	誤り訂正率	セルの大きさ (mm/セル)	バージョン番号
コード1	1 (分割なし)	Q (25%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード 2	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード3	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード4	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード5	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード 6	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))

自動車検査証返納証明書に追加される二次元コードの形式(新規)

コード名称	 コード分割数 	 誤り訂正率 	セルの大きさ (mm/セル)	バージョン番号
コード7	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))